

## 12時間の激闘、約8万円の寄付集まる

◎好藤チャリティソフトボール大会

子どもと一緒にチャリティに貢献



「好藤チャリティソフトボール大会」は9月20日、好藤小学校グラウンドで行われ、朝6時から18時までの12時間にわたり、毎年恒例のY.Y.C.対チャリティーズによる熱戦が繰り広げられました。終始、和気あいあいとした雰囲気で行われた本大会。会場には笑い声が響き渡り、子どもも大人も一緒になってソフトボールを楽しみました。今年度は全67回まで試合が行われ、その結果107対159でチャリティーズが勝利を収めました。本大会で集まった寄付金は8万7777円。これらは保育所、小学校やスポーツ少年団に寄付されます。

## 災害に強いまちづくりを目指して…

◎鬼北町内等郵便局との災害協定調印式

固い握手を交わす甲岡町長と芝局長



9月18日、防災センターで「災害発生時における鬼北町と鬼北町内等郵便局の協力に関する協定書」の調印式が行われました。今回の協定は、災害発生時において「避難所開設状況や避難先リスト等の情報の相互提供」などについて、町と郵便局がお互いに協力し合うことを目的に締結されたもの。甲岡秀文鬼北町長は「郵便局は地域に根差した機関。協力いただけることはありがたい」と話し、芝邦予広見郵便局長は「日頃から地域に密着した仕事を心掛けてきたが、これからは一層地域のために頑張りたい」と期待に応えました。

## 勝利目指した5ヵ月間、ここに終幕

◎鬼北町フットサルリーグ閉幕式

賞品を受け取る優勝した毛舞の選手



9月28日、鬼北総合公園体育館で「第6回鬼北町フットサルリーグ」の閉幕式が行われました。5月の開幕以来、8チームの選手たちが、熱戦を繰り広げてきた本大会。今年度は「毛舞（もうぶ）」が優勝の座を、「銀球（ぎんたま）」が準優勝の座を勝ち取りました。今回で6連覇を果たした「毛舞」。鬼北町フットサルリーグの理事を務める松下剛さんはあいさつの中で、「来年のリーグでは「毛舞」を破るチームが現れるよう頑張ってもらいたい」と話し、来年のリーグ開幕に向けての期待をあらわにしています。

## シーズン中、仲間と繋いだボールと絆

◎鬼北町ナイターソフトボール大会閉幕式

ダブル総合優勝した2チームの代表者



「第11回鬼北町ナイターソフトボール大会閉幕式」は9月24日、鬼北総合公園グラウンドで開催されました。町内の21チームが参加し、約6ヵ月間にわたって、第1節と第2節に分かれて行われた本大会。数々の気迫溢れる試合の結果、今年度は「西武ソフトクラブ」と「武田自販」の2チームが、同率で総合優勝を果たしました。また閉幕式では、本塁打王や「年間チーム最少得点」などの特別表彰の授与式も行われ、シーズンを通して8本の本塁打を打った「西武ナイトクラブ」の松浦慎さんが、今年の本塁打王に輝きました。